

2021 年度第 1 回日本包装専士会理事会議事録

2021 年 9 月 6 日作成

事務局

日 時：2021 年 8 月 30 日（火曜日）16：00～

会 場：リモート

出 席：及川、春日、小林（義）、北島、島田（道）、下村、鈴木、中村、橋本、渡辺、
嶋

欠 席：加藤、小林（浩）、島田（賢）、高畑、竹内、中山、成田

関西理事出席：今田

オブザーバー：崎尾、友滝、堤

内 容：

委員会役割分担（理事ではない方は括弧付）

委員会	事務局	情報	セミナー	展示	未来包装	関西
委員長	嶋	鈴木	及川	下村	島田（賢）	平田
輸送包装		下村	小林・下村	小林・加藤・ 中村		
包装材料		嶋・高畑		鈴木・高畑	今田・（野田）	今田・山本
食品包装		竹内・橋本	北島・橋本・	春日	北島・小林・中 山・成田・橋 本・	岡
医薬品包装	渡辺					清水・田中・ 三橋・小谷

委員会報告

事務局

定期総会

日 時：6 月 11 日（金）15 時

場 所：株式会社文昌堂 10 階会議室

出席者：及川、春日、島田（賢）、中村、渡辺、安原、堤、嶋 計 8 名

会員数 153 名の 1/2 以上の定足数（出席 8 名、委任状提出 101 名、合計 109 名）に達したので総会は成立

議案は賛成多数で可決成立

第一号議案 2020 年度活動実績

第二号議案 2021 年度活動計画

第三号議案 2021 年度役員選出

会員

定期総会後の会員数 139 名

株式会社フジシール宮島さんの会員登録（2019 年度入会）に関する問い合わせ

- 名簿に記載をしていなかったなので、総会案内の郵送を始め、各種案内の一斉送信からも漏れていた
- 宮島さんに謝罪の連絡をするとともに、2021 年度年会費の請求書を送付し支払いを依頼

ホーユー株式会社松浦さんから英文会員証発行依頼

- 日本語の会員証発行の実績なし。発行自体も想定していないので、英文での発行は難しい（事実上出来ない）と返答

その他

包装界合同賀詞交歓会は中止（4 月 9 日付 JPI メール）

情報委員会

委員長より

環境関連で大学等の有識者とネットワーキングを行っており、機会を見て専士会に紹介するとともに、今後何をコラボしてできるか検討していきたい

「包装技術」掲載

「包装技術」執筆実績と計画				
				2021年8月30日
	内容案	担当	締切	状況
4月号	日本包装専士会の紹介	情報委員会	終了	
5月号	日本包装専士会理事会の紹介	情報委員会	終了	
6月号	東京パック総括	展示・未来包装委員会	終了	
7月号	日本包装専士会の紹介	情報委員会	終了	
8月号	日本包装専士会理事会の紹介	情報委員会	終了	
9月号	日本包装専士会の紹介	情報委員会	終了	
10月号	日本包装専士会理事会の紹介	情報委員会	8月末	
11月号	日本包装専士会の紹介	情報委員会	9月末	
12月号	日本包装専士会理事会の紹介	情報委員会	10月末	

現状は「日本包装専士会理事会の紹介」と「日本包装専士会の紹介」の交互掲載ホームページ

工事中の箇所は更新し、関西包装技術セミナーの開催に関するコメントは削除。現状は日本包装専士会の PR ではなく会員への発信や連絡がメイン。更新時に総会出欠席の入力（連絡）を出来るようにしたが、請求書送付の必要性から従来の郵送方式による案内を継続

今後対外発信充実のためにホームページ改定を行う

セミナー委員会

昨今の感染症の状況を踏まえると、対面のセミナー開催は難しいと考えている。対面のセミナー開催は、世間や業界の状況を鑑みて、実施の時期を考える。オンラインセミナーは、この 1 年で各社の対応も変わってきたと思うので、ZOOM や Teams 等の使用で可能な事を検討していきたい。内容は専士会会員や理事会限定で各業界一般レベルの勉強会的な事を考えている。

未来包装委員会

参加者(敬称略)

島田 賢一	三菱商事パッケージング株式会社	委員長	全般
橋本 香奈	缶詰技術研究会	副委員長	全般&渉外(環境研・滝沢氏等)
中山 勉伸	三井化学東セロ株式会社	書記	諸雑用(例:セミナー録画等)
今田 克己	今田包装技術企画		情報収集&整理(全般)
小林 義浩	味の株式会社		〃(食品分野)
北島 誠之	出光ユニテック株式会社		〃(全般&取り纏め)
成田 淳一	三井化学東セロ株式会社		〃(プラ分野)
野田 貴治	日本製紙株式会社		〃(紙分野)
有田 俊雄	有田技術士事務所		アドバイザー

2021 年度活動(4～8 月)

委員会開催日(すべて web/Teams で開催)

4 月 1 日(月)16:00～ (全員)

5 月 13 日(木)17:00～ (全員)

6 月 10 日(木)16:00～ (全員+環境研 稲葉)

7 月 15 日(木)16:00～ (有田欠席/環境研 稲葉)

8 月 27 日(金)16:00～ (今田・成田欠席)

委員会での内容

TOKYO PACK 2022(2022 年 10 月)に向け「包装未来 2030 ～ゼロ・エミッション 2050 に向けてのマイルストーン～(仮称)」をテーマにメンバーの意見交換を年内継続中。脱炭素&循環型への移行の本格化は、プラ問題単体では解決にならず、再生エネ・脱 CO2 燃料・デジタル・分散型社会など、社会と産業界全域の叡智を包装業界に呼び込む必要がある。プラに限らない 2030 年のあるべき姿を再度提案したい

(3)セミナー等

開催はない。セミナー委員会の方針に従う

未来包装研究委員会から理事会への提案

未来年表の取り扱い

未来年表はメンテナンスと過去の振り返りの 2 つあると思料。両方ともに未来包装研究の活動とは直結している。当業務を未来包装研究委員会が担当することにより、確実な継承体制を作ること、未来包装研究の活動に参加されたい方に間口を広くし参加しやすくすること、同時に狙うのは如何でしょうか

未来包装研究委員会アドバイザーの拡充

今後将来、社会課題と未来像の分析知見を持った専門家、LCA 専門家、物流&リテイル専門家など、未来包装研究委員会の活動において必要です。まずは包装専

士から参加頂くことが優先ですが、出来れば、包装専士の資格がなくとも、役割を担って頂いて、仲間として一緒に活動頂ける方については、アドバイザーとして参加できればと考えます。包装専士を未取得の方が、こういう機会を通じて、所属企業様からの包装専士講座へ適任者推薦が増えるのであれば、それも一案と考えます

TOKYO PACK 2021 パネル展示の専士会ホームページ掲載について

著作権の問題などを避けたうえで一部パネルを掲載するなどご相談申し上げます
→膨大な資料（これまでの成果）の掲載ではなく、数ページの抜粋を掲載するのであれば、流用されても仕方なしと考えて掲載しても良いのでは（嶋）
→抜粋の一部だけを掲載し、もっと見たい方、興味のある方は、会員登録をしてから見てくださいますとすれば良いのでは（今田）

掲載の形式を未来包装委員会内で検討する

関西委員会

リモート会議およびセミナーの標準ツールとしてZOOMを用いる（4月13日関西理事会で決裁済）。費用は、関西委員会の経費として処理をする（7月19日関西理事会で決裁）。来年度以降は今年度の実績を見て判断する

Zoom：Standard Pro Annual

接続：100人まで

契約期間：2021年5月16日～2022年5月16日

料金：22,110円（税込）

契約者：今田 克己（今田包装技術企画）

定例ミーティング等

原則Webを利用しリモート会議とする

次回9月8日（水）17：30

次々回11月17日（水）17：30

専士会関西ミニセミナー（会員無料）

Webを利用しリモート開催とする。受講対象者は理事を含めて約25名。内容は、セミナー担当者が理事会で募集／提案し決定。講師は会員が務める。（新技術、基礎技術、展示会報告、業界動向、生活者動向、国際動向、官公庁動向など）。内容により外部講師（謝礼必要）に依頼（素材メーカー、機械メーカー等）。セミナー後の懇親会（参加有料）は行なわない。現在は関西委員会の枠内で行なうが、将来的に本部メンバーへも参加枠を拡大していく。

第3回

日時：9月8日（水）16:00

講師：三橋 博一氏

タイトル：タガントを用いた偽造対策技術とIoTトレーサビリティシステム

8月2日週に案内を送信するので、概要を7月末までに手配（清水理事）

第4回

日時：11月17日（水）16：00

予定講師：新入会員の羽馬氏にアプローチ（今田）

但しコロナ対策の進み具合によっては対面でセミナーを行なう場合がある。そのときはスケジュール等を検討する

日本包装専士会のホームページに関西委員会のページを設ける目的

専士会全体として

専士会を広く世間に理解していただくための情報の伝達手段

専士会自身の歴史の記録（アーカイブ）～主として会員専用ページ

上記の情報を掲載することにより、「包装専士」講座へのチャレンジの動機づけとしていく

新技術など包装業界に広く発信していく

関西委員会として

関西委員会の活動を包装専士、専士会、一般の包装関係者に理解していただく

関西エリアの包装専士に専士会への入会を勧め、会員増強をはかる

会員間のコミュニケーションをはかり、会員メリットを享受できるようにする

関西委員会ミニセミナーの勧誘等に役立てる

島田会長

各理事の委員確認と専任（役割分担は1頁に掲載）

これまで理事は複数の委員を兼務していたが、各理事の時間と労力が分散するので、今年度から理事はひとつの委員会活動に専念することにする。各委員会でメンバーの活動可否を確認し、委員長から来月中に報告してもらうこととする。（委員会の継続、又は辞めるのであればどの委員会の委員となるか）

新メンバー紹介

廣川ホライズン株式会社 友滝さん

株式会社タチバナ・インダストリーズ 崎尾さん

岡田紙業株式会社 堤さん

アイワークス国際特許事務所 尾関さん

今後、ホームページの見直しを会長案件として情報委員会と一緒に進めていく予定。新メンバーの方には、その支援から取り組んでいただき、来年の総会で理事として承認いただけるようにしたい

次回理事会日程

別途調整

以上